



農業用殺虫剤

トレボン[®] 乳剤

有効成分：エトフェンブロックス [PRTR・1種64] …20.0%
その他のPRTR該当成分：キシレン [PRTR・1種80] …77.4%

**トレボン乳剤は
たくさんの作物と害虫に使えます。**

栽培する作物、発生する害虫に合わせてご使用ください。

公園の樹木、街路樹のケムシにも！



■ 適用害虫と使用方法

平成25年3月13日付拡大登録内容含む

作物名・適用場所	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	10aあたり使用液量	使用時期	使用回数※1	使用方法				
たばこ	タバコガ、ヨトウムシ	2000	25 ~ 180 ℓ	-	2回以内	散布				
	アブラムシ類	1000 ~ 2000								
樹木類 (つつじ類、ポインセチア、ソテツを除く)	ケムシ類、シャクトリムシ類	4000	100 ~ 700 ℓ	幼虫発生期	6回以内					
	つつじ類	オビカレハ		2000			-			
つつじ類	ツツジゲンバイ	2000		100 ~ 700 ℓ			幼虫発生期	6回以内		
	ケムシ類、シャクトリムシ類	4000					-			
	オビカレハ	2000					-			
ポインセチア	コナジラミ類	1000		100 ~ 700 ℓ			幼虫発生期		6回以内	
	ケムシ類、シャクトリムシ類	4000					-			
	オビカレハ	2000					-			
ソテツ	クロマダラソテツシジミ	2000 ~ 4000		100 ~ 700 ℓ			幼虫発生期			6回以内
	ケムシ類、シャクトリムシ類	4000					-			
	オビカレハ	2000				-				
宿根かすみそう	シロイチモジヨトウ	1000		100 ~ 300 ℓ		-	-			
	ヨトウムシ	2000								
りんどう	ヒラズハナアザミウマ	2000	100 ~ 300 ℓ	発生初期	-					
きく	アブラムシ類									
カーネーション	アブラムシ類	2000	100 ~ 300 ℓ	-		-				
ゆり										
トルコギキョウ	ハスモンヨトウ	1000	100 ~ 300 ℓ	-			-			

※1 本剤の使用回数および、エトフェンブロックスを含む農業の総使用回数を示す。



サンケイ化学株式会社

適用害虫と使用方法

平成25年10月9日付拡大登録内容含む

作物名・適用場所	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10a当たり使用液量	使用時期	使用回数※1	使用方法	作物名・適用場所	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10a当たり使用液量	使用時期	使用回数※1	使用方法	
稲	コブメイガ	1000	60~150ℓ	収穫21日前まで	3回以内	散布	小麦	ヒメトビウンカ、アブラムシ類	2000	60~150ℓ	収穫14日前まで	2回以内	散布	
	ツマグロヨコバイ、ウンカ類、イネドロオイムシ、イナゴ類	1000~2000					とうもろこし	アワノメイガ、アワヨトウ			収穫7日前まで	4回以内		
	カメムシ類、イネミスズムシ	2000	ばれいしよ				アブラムシ類		収穫7日前まで		3回以内			
	ウンカ類	300~600	かんしよ				ナカシロシタバ、アブラムシ類、ハスモンヨトウ		収穫14日前まで		3回以内			
	ツマグロヨコバイ、イネミスズムシ、イネドロオイムシ	300	やまのいもやまのいも(むかご)				アブラムシ類、ヤマトイモコガ、ハスモンヨトウ		収穫7日前まで		3回以内			
	カメムシ類	600	さといも				ハスモンヨトウ		収穫7日前まで		3回以内			
キャベツ	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、アブラムシ類	1000~2000	100~300ℓ	収穫3日前まで	2回以内	散布	さといも(葉柄)	コナジラミ類		100~300ℓ	収穫7日前まで	2回以内	散布	
はくさい				収穫7日前まで			かぼちゃ	コナジラミ類			収穫前日まで	2回以内		
だいこん	シロイチモジヨトウ		収穫21日前まで	3回以内	散布	1000	豆類(種実、ただし、たいず、あずきを除く)	マメシクワイガ、アブラムシ類、シロイチモジマダラメイガ、ダイズサヤタマハエ、カメムシ類、フタスジヒメハムシ、ハスモンヨトウ、ウラナミシジミ、フキノメイガ		100~300ℓ	収穫14日前まで	2回以内	散布	
ねぎ	アブラムシ類	収穫14日前まで	だいず				マメシクワイガ、アブラムシ類、シロイチモジマダラメイガ、ダイズサヤタマハエ、カメムシ類、フタスジヒメハムシ、ハスモンヨトウ、ウラナミシジミ、フキノメイガ、ウコンノメイガ		収穫14日前まで		2回以内			
レタス	アブラムシ類		100~300ℓ	収穫前日まで	3回以内	散布	1000	あずき	マメシクワイガ、アブラムシ類、シロイチモジマダラメイガ、ダイズサヤタマハエ、カメムシ類、フタスジヒメハムシ、ハスモンヨトウ、ウラナミシジミ、ノメイガ類		100~150ℓ	収穫7日前まで	3回以内	散布
すいか	アブラムシ類、コナジラミ類、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ	1000	収穫3日前まで	しょうが				ハスモンヨトウ		収穫14日前まで		3回以内		
メロン	アブラムシ類、コナジラミ類		100~300ℓ	収穫前日まで	3回以内	散布	1000	ふき	コナジラミ類、フキノメイガ、ヨトウムシ		100~150ℓ	収穫14日前まで	2回以内	散布
なす	コナジラミ類	1000~2000	収穫前日まで	葉しょうが				ハスモンヨトウ		収穫14日前まで		3回以内		
ピーマン	アブラムシ類		100~300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	1000	せり(水耕栽培)※2	アブラムシ類		100~150ℓ	収穫30日前まで	2回以内	散布
オクラ	アブラムシ類、カメムシ類		100~300ℓ	収穫前日まで				せり(水田)	アブラムシ類			みずいも(水田)	オキナウイナゴモドキ	
きゅうり	コナジラミ類、アブラムシ類		100~300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	1000	あしたば	アブラムシ類	2000	100~300ℓ	収穫14日前まで	3回以内	散布
にがうり	アブラムシ類、ウリノメイガ、カメムシ類、コナジラミ類、ヨトウムシ類		100~300ℓ	収穫前日まで				てんさい	ヨトウムシ	1000~2000		茶	チャノホソガ、チャノドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ	
トマト	コナジラミ類		100~300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	1000	水田作物、畑作物(休耕田)※3	カメムシ類	2000	60~150ℓ	—	3回以内	散布
さやえんどう 実えんどう	シロイチモジヨトウ、ヨトウムシ、ウラナミシジミ	1000	収穫前日まで	根株養成期但し、収穫45日前まで				1回						
さやいんげん	ワタアブラムシ、ウラナミシジミ、マメノメイガ		100~300ℓ	収穫開始7日前まで	2回以内	散布	1000	かんきつ	コアオハナムグリ、ケシキスイ類		200~700ℓ	収穫14日前まで	3回以内	散布
えだまめ	マメシクワイガ、シロイチモジマダラメイガ、ダイズサヤタマハエ、カメムシ類、フタスジヒメハムシ、ウコンノメイガ	1000~2000	収穫前日まで	根株養成期但し、収穫45日前まで				1回						
未成熟さやげ	アブラムシ類		100~300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	1000	かんきつ	ミカンハモグリガ	1000~2000	200~700ℓ	収穫14日前まで	3回以内	散布
うど	アブラムシ類	1000	収穫前日まで	根株養成期但し、収穫45日前まで				1回						
モロヘイヤ	アザミウマ類		100~300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	1000	かんきつ	チャノキイロアザミウマ	2000	200~400ℓ	摘採21日前まで	2回以内	散布
モロヘイヤ	アザミウマ類		100~300ℓ	収穫前日まで				根株養成期但し、収穫45日前まで	1回					

※1 本剤の使用回数および、エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数を示す。 ※2 ガラス室等の施設での水耕栽培 ※3 ヨシ、オギ、ススキ、セイタカアワダチソウ等の多年生雑草が優占している休耕田

△ 使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 本剤を本田の水稲に対して希釈倍数300~600倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型・速度連動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
- 本剤のかんきつ、茶での散布は、場合によりハダニ類がふえることがあるので注意してください。
- ねぎのシロイチモジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若令幼虫期に散布してください。
- さくのアブラムシ類への使用にあたっては、一部地域のワタアブラムシでは効果が劣ることがあるので使用をさけてください。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにしてください。
- 散布器具、作業衣等は薬用と必ず区別してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ① ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散する恐れがある場合には使用しないでください。
 - ② 養蜂が行われている地区や受粉等を目的としてミツバチ等を放飼している地区で使用する場合は、関係機関(都道府県の畜産部局や病虫害防除所等)への連絡を徹底し、ミツバチ等の危害防止に努めてください。
- 水産動植物(甲殻類、冷水魚)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池等周辺での使用は避けてください。なお、比較的低濃度でも魚が平衡失調を起こす恐れがあるので、十分注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 誤飲等のないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 原液は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
- 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗顔うがいをしてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 本剤は自動車等の塗装面に散布液がかかると変色する恐れがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 危険物第四類第二石油類に属するので、火気には十分注意してください。保管:火気をさげ、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管してください。

万一、誤食・誤飲した場合には、速やかに医師の手当を受けてください。皮膚などにかけた場合には、十分な水で洗い流してください。さらに、異常を感じた場合は、医師の手当を受けてください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 防除日誌を記載しましょう。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 容器・空袋などは農場などに放置せず、適切に処理してください。

※本製品は農業用殺虫剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。※本印刷物は平成25年10月9日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成しています。

NIK-TB2013.10S

取扱い



サンケイ化学株式会社

東京本社 〒110-0005 東京都台東区上野 7-6-11 ☎(03) 3845-7951
 深谷営業所 〒366-0032 埼玉県深谷市幡羅町1丁目 13-1 ☎(048) 551-2122
 大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4丁目 5-1 ☎(06) 6305-5871